

まちづくり構想基本計画の背景と目的

平成 22 年 3 月に航空自衛隊百里基地との共用空港として開港した茨城空港は、これまで多くの空港利用者および来場者が訪れています。空港施設を拠点として少しでも長く本市に滞在してもらえるかが課題となっています。本市にとっても、空港を活かした産業の振興、魅力ある観光資源などの周知・PRを推進し、地元への経済波及効果をもたらすことが期待されています。

本事業は、百里基地並びに茨城空港を核として交流人口の拡大や地域振興の活性化に取り組み、飛行場と地域住民が共存できるまちづくりを目指すことを目的として行うものです。

小美玉市まちづくり構想の概略

基本計画の策定にあたっては、「小美玉市まちづくり構想」(令和元年度)(以下、基本構想)に基づいた具体の整備方針を示すものとします。基本構想においては基本理念を「ひとが輝き、街がきらめく、未来にはばたくゲートウェイシティ」とし、施設の利用の方向性を次のように示しています。

- 空港利用者が長時間滞在できる施設
- 市民と自衛隊員が交流できる施設
- 大人から子供まで楽しめる施設
- みどり豊かな環境と調和する施設
- 未来の街並みを感じさせる施設

【基本理念】

ひとが輝き、街がきらめく、未来にはばたくゲートウェイシティ

そらら拡張構想の概要

本計画は基本構想に示されている4つの整備構想のうち、「そらら」の機能拡張を図るそらら拡張構想について、基本計画を策定し、その実現にむけて具体の方向性を定めるものです。



施設整備の理念とコンセプト

本計画では、本市の産業振興、観光の重要な資源として地元への大きな経済波及効果が期待できる百里基地・茨城空港の立地を活かしながら、来街者を呼び込むだけでなく、市民が将来にわたって愛着をもって利用でき、市民の生活の中に根付く施設の整備を展開します。

計画コンセプト

街の要となる空のえき「そ・ら・ら」の拡張と機能強化

～地域の『農』と『食』から持続可能な『地域再生』を目指す～

基本目標

施設整備の理念及び計画コンセプトを踏まえ、「そ・ら・ら」拡張整備の目標を下記の通り定めます。

基本目標1

地域の生活の中に共存する体験型施設

市民にとって「あると嬉しい施設」であり、体験型の機能と日常利用できる機能を強化し、市民に長く愛される施設を目指します。

非日常(ハ
レの日)の
機能

日常(ケ
日)の機能

基本目標2

地域の活力・魅力を育てる体験型施設

人口減少に歯止めをかけるため、体験型の機能を強化し、「地域の稼ぐ力・地域を生かす力」となる施設を目指します。

産業を伝え振興する施設

魅力を高める施設

チャレンジできる施設

基本目標3

広域から近隣まで様々な交流を促進す

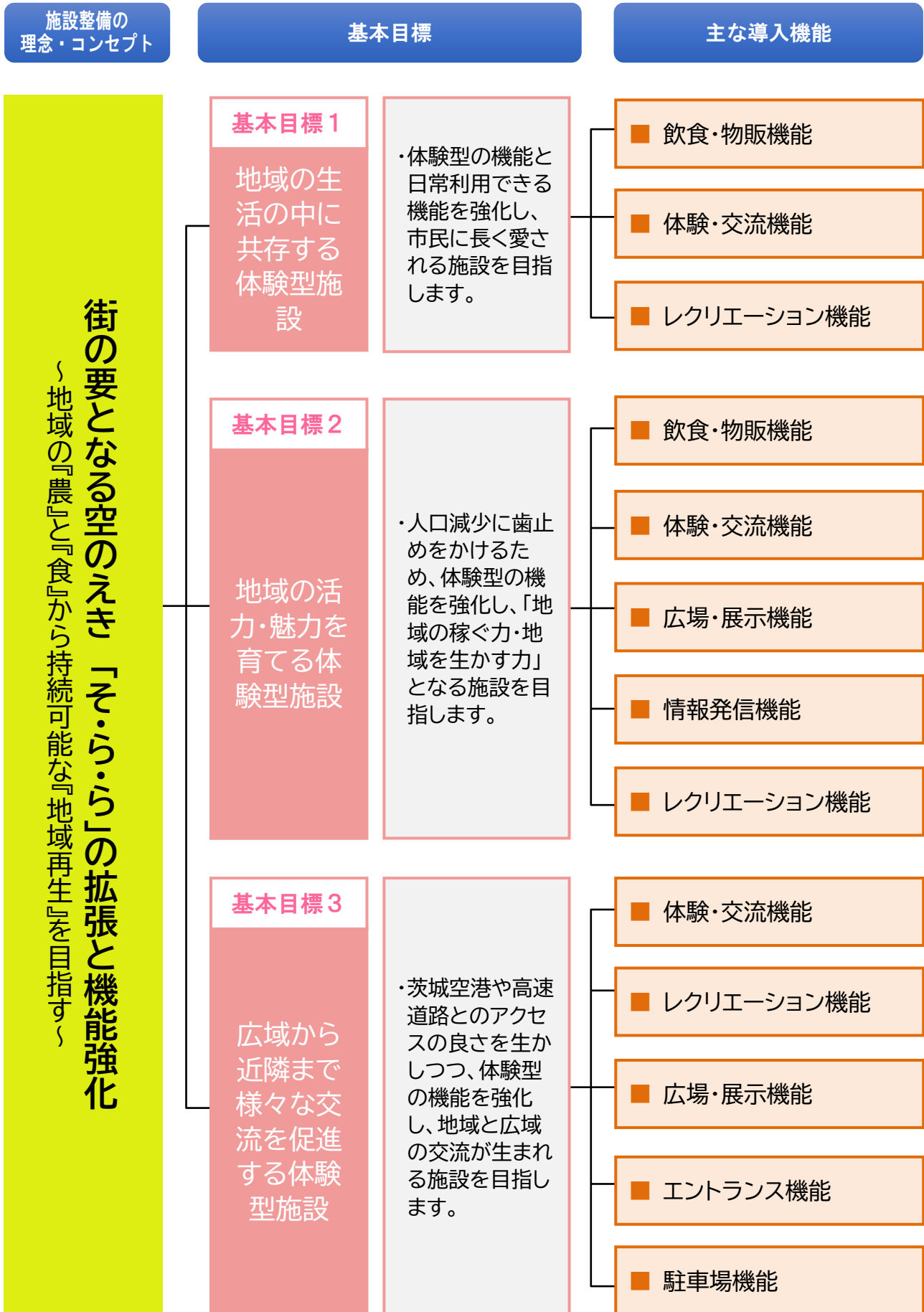
茨城空港や高速道路とのアクセスの良さを生かしつつ、体験型の機能を強化し、地域と広域の交流が生まれる施設を目指します。

地域の人が楽しめる
コンテンツ

空のえき
そ・ら・ら

広域からの
来街者との
交流

「そ・ら・ら」拡張の方向性の検討を踏まえ、下図の通り計画体系として整理します。



既存エリア、拡張エリアの土地利用方針

現在「そ・ら・ら」の各種施設が立地する【既存エリア】と、今回機能強化を図るため必要な【拡張エリア】を想定しながら、それぞれの土地利用の方針を整理します。

【既存エリア】

- ・茨城空港アクセス道路に面する既存エリアについては、本施設の象徴性を高め、多くの人を迎え入れる本施設の玄関口としての役割を担っています。
- ・これまで以上に多くの市民に親しまれ、市外県外からも多くの人々が訪れる地域活性化の拠点として機能していくため、既存施設の機能強化とともに、新たな体験・交流機能の配置を図っていきます。

【拡張エリア】

- ・既存エリアに隣接する拡張エリアについては、主要な地域産業である「農」を活かしながら、「そ・ら・ら」の機能を総合的に向上し、体験や交流を通じた地域再生拠点としての魅力を高めていく役割を担っています。
- ・「そ・ら・ら」の機能追加に伴う利用者の増加に対応するとともに、臨時駐車場の集約的配置を行いながら、利用者を迎え入れるための駐車場の配置を図っていきます。



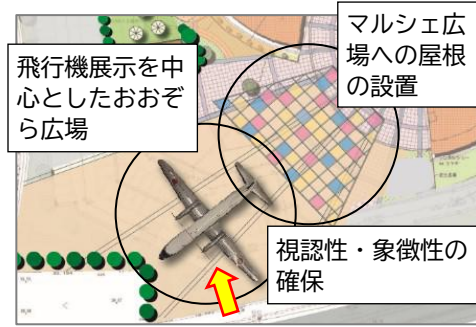
広場・展示機能

【新規】

- ①飛行機展示
- ②おおぞら広場

【機能強化】

- ①マルシェ広場
- ②太陽の広場
- ③体験広場



▲おおぞら広場配置イメージ



▲太陽の広場配置イメージ

※飛行機の展示については、本計画策定後に策定する実施計画において見直し等を行っていくこととします

体験・交流機能

【新規】

- ①各種工房
- ②体験農園

【機能強化】

- ①そ・ら・らホール
- ②ふれあい牧場



▲各種工房・体験農園配置イメージ

飲食・物販機能

【新規】

- ①各種工房

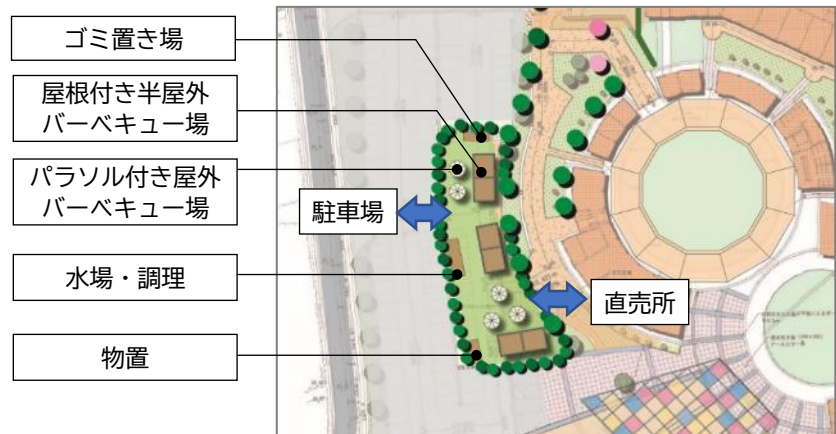
【機能強化】

- ①直売所
- ②物産館、レストラン、チャレンジショップ

レクリエーション機能

【新規】

- ①BBQ広場
- ②サイクルステーション



▲BBQ広場配置イメージ

情報発信機能

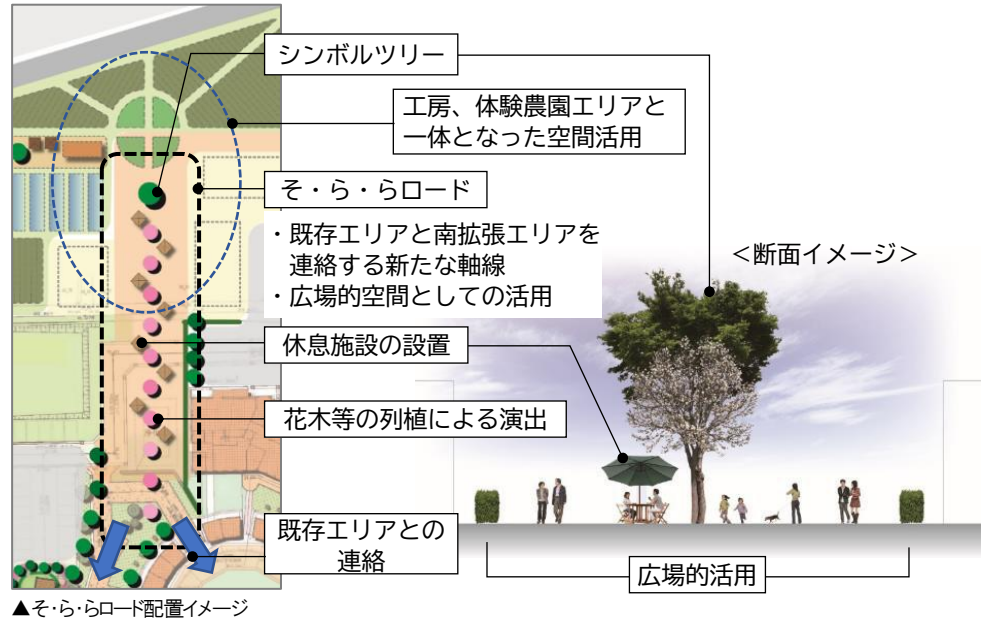
【機能強化】

- ①ウェルカムセンター
- ②そ・ら・らホール

エントランス機能

【新規】

- ① エントランス広場
- ② そ・ら・らロード



駐車場機能・調整池機能

【新規・機能強化】

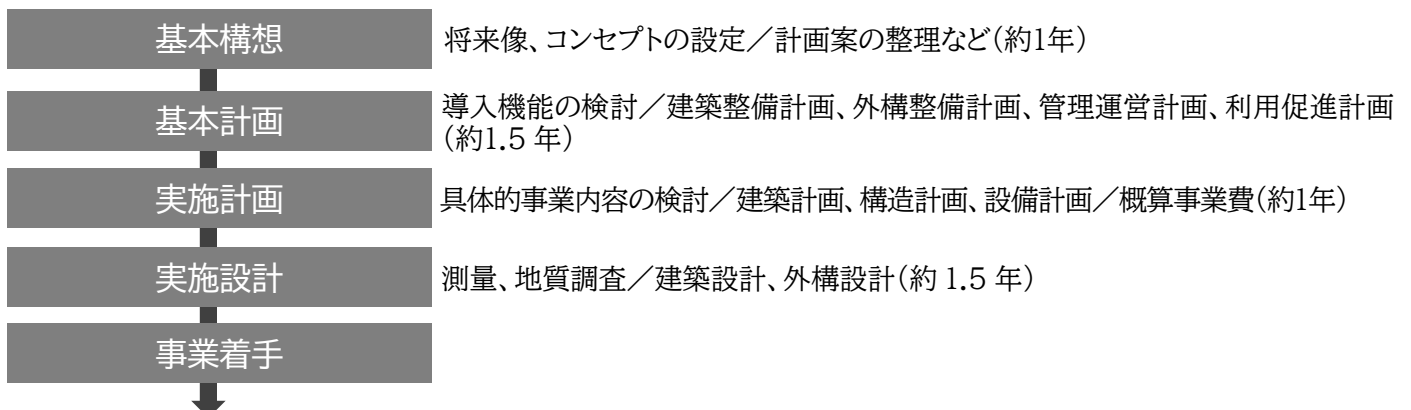
- ① 身体障がい者用駐車場、自動二輪駐車場
- ② 一般駐車場、大型駐車場、臨時駐車場
- ③ 調整池

■「そ・ら・ら」拡張に向けた概算事業費及び事業スケジュール

施設等整備計画に基づいて機能や施設を配置した場合の概算事業費は以下の通りとなります。なお、本基本計画における概算事業費は、測量等諸条件を検討する前段階でのものであることから、詳細の事業費については、実施計画の段階で仕様を調整しながら検討します。

区分	数量	概算事業費	備考
土木工事費	一式	約470百万円	
建築工事費	一式	約660百万円	
土地取得費	一式	約200百万円	※基準地価等を参考に算定
機体購入・設置費	一式	約450百万円	※国内事例等を参考に算定
合計額	—	約1,780百万円	

基本構想に基づいた計画推進のスケジュールを以下のように想定します。



「空のえき そ・ら・ら」拡張・機能強化のための
土地利用ゾーン区分

- A 既存施設活用ゾーン**
 - 既存機能の充実による魅力・利便性向上
 - 交流・体験の場としてのさらなる活用
 - 動線の改善
- B 体験・交流ゾーン**
 - BBQ広場の配置
 - 雨天でも快適に利用できるマルシェ広場
 - サイクルステーションの配置
 - 工房の配置
 - 既存施設との連携
- C 農の風景ゾーン**
 - 体験農園等の配置
- D エントランスゾーン**
 - 本施設の顔づくり
 - 飛行機の展示
 - アクセス路や茨城空港との関連性強化
 - 駐車場の配置 (新規調整池含む)



総合施設整備計画図



- 体験農園等
- ミート工房
- チーズ工房
- 地ビール工房
- ※拡張エリア内の具体的な施設規模や配置については、継続的に検討していくものとします。
- そ・ら・らロード
- あずまや等
- パーベキュー施設